

平成27年度 第2回 社会教育委員会 会議録

日 時 平成27年8月25日（火）
午前9時00分から午前11時30分
場 所 市役所 東館3階 教育委員会会議室
出席者 橋本委員、相羽委員、緒方委員、東委員、新井委員、近藤(木)委員
欠席者 近藤(正)委員、青木委員、西尾委員
事務局 生涯学習課長、生涯学習課長補佐、生涯学習担当係長
傍聴人 なし

1 あいさつ

2 議題 （委員長が議事進行）

- （1）第1次アクションプランの検証結果報告について
生涯学習担当係長が説明。

質疑等

委員 障害者の居場所づくりについて、削除という説明がありました。個人的には残す方向が良いと思います。

A 豊明市障害者福祉計画の中に出てくる事業と思われますが、次回の策定委員会へ今回の委員からの意見を挙げます。また、障害者福祉計画の中での位置づけなども確認して判断して参ります。

委員 第1次アクションプラン検証結果報告の障害者の「害」の字をひながなに変えていただいたほうがいい。

A 当時の計画をそのまま転記しておりますので、漢字での表記になっております。

委員 史跡ガイドの養成についてですが、観光ボランティアガイドとの共存などの問題があるとのことでしたが、今現在、どの程度のガイドボランティアがあるのでしょうか。

A 産業振興課が積極的に取り組んでおりますが、ガイドボランティアの方も補助金を活用するなどしてガイドブックを作られたりしています。名称は史跡ガイドと観光ボランティアガイドで意味合いは違って来るかもしれませんが、同じ豊明市の中で歴史の好きな方が観光ボランティアとして、豊明市の歴史について皆さんに勧めていただいているということでは、同じ事業として考えております。

来年度は、観光ボランティアさんは13,000人位をガイドするという目標を立てています。

(2) 第2次アクションプラン案について

生涯学習担当係長が説明。

質疑等

委員 地域総合型スポーツクラブについて、現状値8%という数値があるのですが、現在どのようなことをされていますか。

A いろんな方式がありますので、豊明市に合ったものを検討中でございます。また、8%という数値は、スポーツの推進計画を策定する際にアンケート調査を行い、地域総合型スポーツクラブを知っていますかの問いに、知っていると回答した人の割合です。

委員 12ページのさわやかひと声運動のところで、学校教育課と指導室だけとなっていますが、各地区の青少年健全育成推進委員も一体となって行っているのです、学校教育課、指導室のあとに入れていただくことは可能でしょうか。

A 括弧内は、市の所管がどこになるかといった意味ですので、もし入れるということであれば、文章の中に入れることとなりますが、例えば、11ページの青少年健全育成事業の文章へ入れることは可能です。

委員 今のさわやかひと声運動ですが、文章が短くてあっさりしすぎている気がします。

A 若干の肉付けを行います。

委員 この第2次アクションプランは、市民の目に触れるものですか。

A 市のホームページに掲載してご覧いただけます。

委員 あと、細かい部分ですが、3ページの6行目は平成ですが、アクションプランは西暦となっています。

A 西暦で統一させていただきます。

委員 とよあけ市民大学ひまわりの目標値が80%となっておりまして、嬉しい数字ではあるのですが、60%くらいでお願いしたいです。

A 承知しました。

委員 他の施策事業ですと、満足度であるとか、参加者であるのにここだけハードルが高い。気持ちの表れでもあるとは思いますが。

A 市民大学ひまわりについては、受講者の満足度についても現状値がもともと高いため、目標値についても正直迷いました。

委員 50代未満の参加者数にしてみてもいかがですか。

A 受講者割合ではなく、参加者人数とします。

委員 17ページの乳幼児期の子育て支援のところで、目標値が現状値より低いですが、指標の名称を読んで見てようやく理解できる。もう少し分かりやすい表記を工夫してほしい。

A 検討させていただきます。

委員 大学との連携の9校については、具体的に考えて見えますか。

A 今後、模索していきます。

委員 市内の教職員から要望があったのですが、東郷町でスポーツ教室があったときに町民でないため参加することができなかった。現在、子どもの体力低下が問題となっていて、せっかく指定管理者となったことでもあるので、子どもが積極的に参加できるような機会を豊明市でも提供してほしい。

A 子ども向けのスポーツ教室は指定管理者が受託事業として行っていますし、スポーツクラブについても市で行っておりますので、何か要望があれば、指定管理者へ要望してまいります。また、PR方法も含めて検討させていただきます。

委員 高齢者の貯筋体操などは会場が2つで、やりたい人が多いのですが、年齢制限があったりして参加できないし、競争率も高い。

A アクションプランの中では、高齢者向け教室も介護予防教室も実施していく計画となっております。会場や人数の問題なども担当の高齢者福祉課では考えていると思いますので、委員から出たご意見はお伝えしておきます。

委員 もう一つ、男性の参加が少ないことについて、何かいい方法がないかもお願いします。

A 分かりました。